

平成30年3月1日
四国地方整備局
土佐国道事務所

しんたちばな
「新橋トンネル技術検討委員会」の開催について

土佐国道事務所で開催中の一般国道33号橋防災事業の「新橋トンネル」について、当該地域の地形・地質状況及び周辺環境の特徴を踏まえ、技術的な検討を行う委員会を以下のとおり開催しますのでお知らせします。

委員会名称：新橋トンネル技術検討委員会（別紙参照）

開催日時：平成30年3月5日（月）13：30～

開催場所：四国地方整備局 土佐国道事務所

新橋トンネル高知県側坑口付近の法面において、崩壊や落石が懸念されるクラックが確認され、法面の不安定化が懸念されます。

今後、施工を開始するにあたり、法面に対する法面对策工法及び施工中の安全対策について、審議するため本委員会を設置します。

本施策は、四国圏広域地方計画「NO.1 南海トラフ地震を始めとする大規模自然災害等への「支国」防災向上プロジェクト」の取り組みに該当します。

お問い合わせ先（○主な問い合わせ先）

四国地方整備局 土佐国道事務所 TEL088-884-0359（代表）

副所長（改築） おおにし 大西 よしあき 良明（内線204）

○工務課長 はま 濱田 ひさよし 向啓（内線411）

「新橋トンネル技術検討委員会」

- 委員：高知大学 教授 笹原 克夫
高知大学 講師 藤内 智士
四国地方整備局 道路情報管理官 秋山 慎吾

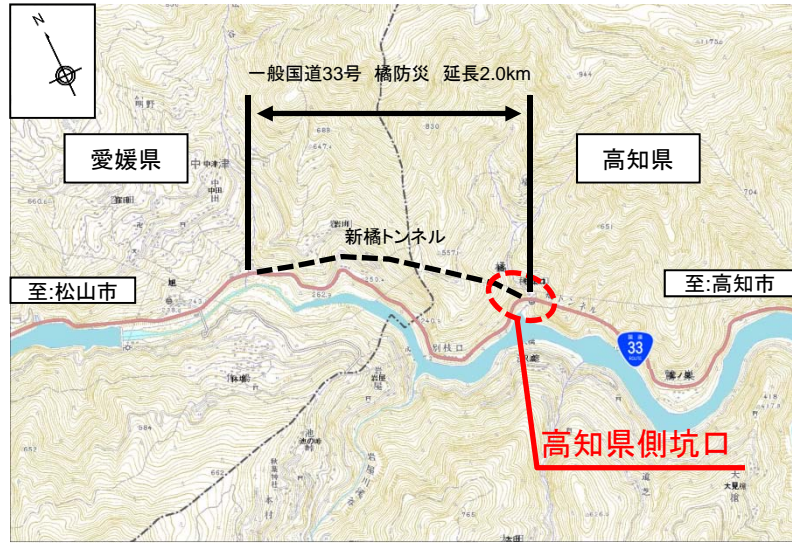
- 委員会開催日時
平成30年3月5日（月）13：30～

- 委員会開催場所
四国地方整備局 土佐国道事務所

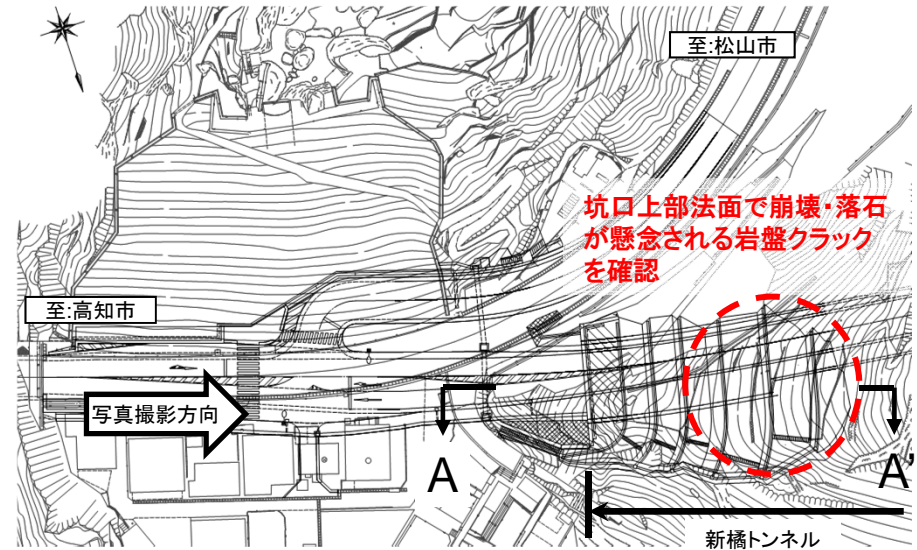
- 目的
土佐国道事務所で施工中の新橋トンネルについて、当該地域の地形・地質状況及び周辺環境の特徴を踏まえ、技術的な検討を行う。特に高知側坑口については、崩壊や落石が懸念される法面に対する法面对策工法及び施工中の安全対策について審議し、意見を伺うことを目的とする。

一般国道33号 新橋トンネル高知県側坑口の状況

位置図



平面図



高知県側坑口の状況

平成29年12月26日撮影



断面図 (A-A')

